

## 巣箱のはなし

知和管理棟の観察窓から数メートル先のシラカシの幹に、「三原野鳥の会」と書かれた巣箱が架けてあります。先月下旬に、写真のシジュウカラの子どもたちが、元気に巣立っていきました。



この巣箱、設置されたのは 3 年前の春ですが、設置後すぐにキイロスズメバチが占拠してしまいました。

数ヶ月後、オオスズメバチがやって来てキイロスズメバチを殲滅しましたが、巣箱の出入り口のすぐ奥にはハチの巣の壁が見えていたので、中はハチの巣で充満し、小鳥が使えない状態になっていたと思われます。

今年の春、シジュウカラがたびたびこの巣箱をのぞきに来るので、使えないのに気の毒だなと思っていたら、いつの間にか餌を運び込むようになりました。どうやら、自力でハチの巣を壊し、使用可能な状態にしたようです。大したものですね。